

一般財団法人 全国大学実務教育協会 会報

第3号
MAY 2010

全国大学実務教育協会と

高等教育におけるキャリア教育

CONTENTS

巻頭論文	2
生涯学習社会の構築に向けて — 継続教育単位 (CEU) の開発・実践 —	3
平成21年度 実務教育優秀教員被表彰者寄稿	4
平成21年度 会長賞受賞者紹介 (No.1)	5
資格取得卒業生の声	6・7
協会からのお知らせ	8

 一般財団法人 全国大学実務教育協会
Japan Association of University and College for Business Education

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-2-12
第三東郷パークビル二階
TEL:03-5226-7288 FAX:03-3263-8633
E-mail:jaucb@jaucb.gr.jp
PC:http://www.jaucb.gr.jp
携帯:http://www.jaucb.gr.jp/mobi



全国大学実務教育協会と高等教育におけるキャリア教育



一般財団法人 全国大学実務教育協会 代表理事・会長

札幌国際大学 理事長 和野内 崇弘

当協会は母体となった組織の結成以来37年目を迎えました。

当時、私は有志と共に、主に短期大学における女子の高等教育のあり方を模索していました。高度経済成長期でもあり、女子学生に対するビジネス関連教育を通して能力開発を図ることなどについて議論していました。そして、秘書教育という形で女性のビジネス能力を開発し、社会に貢献することが必要ではないかとの結論に達し、その為の教育課程の開発や教育方法などについて研究することが必要と考え、仲間を募りながら活動を開始しました。

現在、高等教育機関におけるキャリア教育の充実が叫ばれていますが、当協会の活動は、正しく高等教育機関におけるキャリア教育への取り組みであったといえましょう。

現在、このような議論は当然のことと考えられていますが、昭和50年前後においては、ビジネス教育を大学・短期大学教育に持ち込むことは、とんでもない話とされていました。特に、短期大学は、学校教育上、実的な生活に役立つことを教育する場、また職業教育をする場とされながらも、短期大学といえども、大学であり、学問の府であるとの考え方が支配的でありました。

一般的には受け入れられない環境の中で、当協会はビジネス教育の研究と普及を図るべく活動を続けてきました。現在の日本ビジネス実務学会の役割をも荷っていたのです。

「秘書士」という資格認定、発行は当時主要な役割ではありませんでした。教育を受けた学生に、その努

力に対する証しとして与える制度が導入されました。

その後、現在の日本ビジネス実務学会の発足と共に、ビジネス実務教育の研究は学会に委ね、できる限りの支援をすることとし、協会は新しい資格とその教育課程の開発と教育の普及に活動の重点を置くことになりました。

その結果、現在では22の資格とそれに伴う教育課程を開発しました。

37年に亘る協会の活動は、高等教育におけるキャリア教育の充実に大きな役割を果たしてきたと自負しています。当初、短期大学を主たる会員校としてきましたが、次第に四年制大学の会員校としての加入が増加してきています。

資格発行数も50万人を超え、公的高等教育機関における教育課程に基づいた教育によって一定の資格が得られるのは、日本で唯一当協会の資格認定のみであります。

当協会は、短期大学秘書教育協議会、全国短期大学秘書教育協会、全国大学・短期大学実務教育協会、全国大学実務教育協会と名称変更しながら発展を続けてきました。

平成21年4月1日を期して、「一般財団法人全国大学実務教育協会」として法人格を取得しました。このことは社会的にも信頼される協会としての努力を傾けることは当然のこととして、大学・短期大学における実務教育の普及とその充実に努力することを通して、わが国高等教育の新たな発展の方向を見出したいと考えています。

現在、「社会人基礎力」や「就業力」の育成が高等教育機関に求められています。つまり、過去、高等教育機関で軽視されがちであったキャリア教育の普及、充実への対応が要求さ

れていますが、当協会の目指す方向と合致しており、改めて、協会の役割の大きさを痛感しています。

過去30年を振り返りますと、今としては、この協会の考え方が先見性のあるものだと思いますが、これに甘んずることなく、未来に向けて、新しい発想のもとに会員校からの要望などを踏まえて研究開発をしなければなりません。かつての逆風の時代を乗り越えて、現在、実務教育は、かつてよりは順風下にあると思われませんが、絶えず新しい教育課程と教育方法の開発に努力すべきと思っています。

昨年、法人化を期して、協会として新しい事業に取り組むこととしました。それは検定制度の導入であります。その資格、検定の方法等については検定事業部で検討中です。

このことは、正規の教育課程に基づいた教育によって資格の認定が受けられる従来の資格発行と異なった事業であり、現在、慎重に議論されているところであります。また、新しい資格についても、時代が必要とする分野は何かについても委員会を設置して検討中であります。

現在、高等教育機関に望まれているキャリア教育はどうあるべきか、どのような教育体系の中でなされるべきかなど、取り組むべき課題はそう簡単ではありませんが、当協会の組織をあげて取り組むべき課題と考えております。

今後とも、会員校との連携を密にして、時代が要求する実務教育のあり方について検討し、会員校の要望に応えられるような運営をしたいと考えておりますので、一層のご支援をお願いしたいと思います。

生涯学習社会の構築に向けて—継続教育単位(CEU)の開発・実践—



一般財団法人 全国大学実務教育協会 評議員
筑波大学 理事・副学長 清水 一彦

アメリカでは、生涯学習の発展に伴う学校教育との連動化・連携化の過程の中で、新しい学習成果の評価手段が開発・実践されている。およそ1970年代以降普及してきた「継続教育単位」(Continuing Education Unit,以下CEU)と呼ばれるものがそれである。この評価方法は、アメリカのいくつかの成人教育団体の代表者から成る全国的なタスク・フォースによって確立され、従来の非クレジット(Non-Degree Credit)教育の測定手段として考え出された。それは、成人学習者の継続教育や学習活動を証明するための公的な生涯学習単位であり、正規の単位を認定しない中等後教育レベルの継続教育あるいは拡張教育における学習参加を承認し、それを時間によって測定・記録する統一尺度である。伝統的な学問的学位へつながる単位とは明確に区別されているが、大学のカタログの中には学位につながる単位(Credit Hours)科目とともに、このCEUの科目も記載されている。

1CEU単位は、一定の条件の下で、組織的な継続教育経験として10時間の学習参加に対して与えられることになっている。それ以下の時間の場合は、相応の端数単位となり、例えば8時間の場合は、0.8CEU単位、24時間の場合は2.4CEU単位となる。また、1日のコースは0.65CEU、半日コースは0.35CEUである。一定の条件とは、それぞれのコースが、少なくとも責任をもったスポンサーの下で、明確な方針と目標をもち、有資格の教授者によって実施される

ものでなければならない。

こうしたCEUは、非常に多くの専門職団体や公的な免許状交付機関が歓迎しており、定期的な継続教育の学習の要件を満たす道具として使われている。というのも、アメリカでは、州ごとに会計士、弁護士、看護師、薬剤師、検眼士、老人ホーム経営者など専門的職業従事者に対して継続教育が義務づけられているからである。この継続教育は、大学をはじめ専門的職業の種類別に設けられている全国的な団体によって提供される(時には、自宅学習による要件もみられる)が、それを評価し証明する上で便利なものとなっているのである。

現在、コミュニティカレッジや大学の拡張教育の中で、この継続教育単位は盛んに取り入れられている。取得単位は、伝統的な教育機関で使用されるというより、むしろ基本的にはさまざまなエイジェンシーや組織、企業等で容認され、看護関係等の資格更新など主に個人のキャリア発達に役立っている。その背景には、それによって社会や職場の中で地位や給与が上がっていったり、あるいは一定の専門職に就いたりできるといった社会的需要があるからである。多くの人々は、個人の社会上昇移動や新たなキャリアをめざしてその資格を常に追い求めるが、その資格更新や能力証明のための単位がこうしたCEUというわけである。

このCEUの登場には少なくとも次の2つの重要な意味がある。1つは、継続教育分野の標準化を促進・強化することで、他の1つは、教育機関と非クレジットの継続教育を施す社会的組織や専門団体、政府機関との連携および協同化を図ることである。

すでにCEUについては、全国の地域資格認定(Accreditation)協会によっても容認されており、そこでは少なくとも次のような条件が付けられている。

- ①教員は、教授領域についての教育と能力をもつこと。
- ②公的なカタログ・パンフレット・告示などによって、コースの状況を明示すること(これには、授業料およびその返還規定、入学または登録の手続き、プログラム基準及びコースまたはプログラム完了のための必要条件を含む)。
- ③コースの場所を問わず、図書館(室)、実験室、クラスルーム、学習の場、事務所及び関連施設・器具を備えること。

このように、教授陣やコース内容、施設・設備の3側面における条件整備の保障が求められ、それによって最低限の教育水準の維持が図られている。CEUを提供する機関は、教育の質と組織について全面的に責任を負い、各コースは一定の方針と手続きの下に適切に運営されることが明確になっているのである。なお、このCEUは、継続教育及び訓練の質を高めることを使命とする「国際継続教育訓練協会」(IA CET: International Association of Continuing Education and Training)からも容認されている。

わが国においても、近年、職業や個人のキャリア開発のための継続教育の重要性がいっそう高まってきている。生涯学習社会の構築を目指す上で、従来のアカデミック部門とは区別される、組織的な継続教育の経験を対象とする非クレジット部門における客観的な評価基準や評価システムの開発が求められる。

平成21年度 実務教育優秀教員被表彰者寄稿



札幌国際大学 観光学部
教授

長谷川 修

この度は、全国大学実務教育協会からの表彰を賜り、誠にありがとうございました。受賞に伴い、私が勤務させていただいております札幌国際大学理事長、学長はじめとする多くの方々のご協力とご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。同様に私の授業を受講された学生諸君の向学心に燃えた熱い思いに感謝しております。

私は、ホテル業界に26年間籍を置き、この業界で身をもって体験した者としてこの業界が求めるものは「知行合一」という精神ではないかと確信しています。即ち、「真に知

実践的観光ビジネス教育を目指して

ることは必ず実行を伴い、知っているでも出来なければ知らないと思なされる」とうことです。ビジネスと云う競争社会の中では「できるか、できないか」「やるか、やらないか」で勝負がついてしまいます。特に100年に1度の大不況の中で企業が求める人材は、「社会人基礎力をもった即戦力のある人材」であると思ひます。

それを焦点にビジネス経験のある教師として私が、学生に対してできることは、学術的な知識でも研究結果の報告でもなく、「実践的なビジネスの現場で得た即戦力となるノウハウを伝える」ということです。しかも、学生もそれを望んでいるということを知りました。

ならば、私が体験してきた実証例を伝えることと学生が自ら体験する場を提供することによってその能力の構築ができると確信しました。

企業の目標は、存続と発展でありその対象は「お客さま」であり、ビジネスのプロセスは、いかにお客さまを集め、いかにいらっしゃったお客さまを対応するかの繰り返しならば、マーケティングとホスピタリティ

の融合を具体的な形でいかに授業の中で推し進めていくかということを考えてみました。

「観光マーケティング」という授業では一般ユーザーから固定客にするまでのマーケティングプロセスを学び、体験の場として地場の旅行会社との産学共同プロジェクトを立ち上げ、インターンシップを通じて学生独自の旅行企画・運営をすることができました。

そして、「ホスピタリティ論」という授業では高度なお客さま満足度の維持向上のためにホスピタリティ「お客さまを思いやる心」を具体的な行動規範や行動指針として、一人一人が文章化して常に携帯する「マイ credo」を作成することによって、どんな場合でも臨機応変に対応能力即ち、即戦力を育成することができました。

最後に私は、この度の受賞に対して、その価値に値する能力があるかどうかは分かりませんが、今後、受賞に値する人材になるために一層の努力と精進に励まなければならないと決意を新たにすることができました。誠にありがとうございました。



大阪キリスト教短期大学 国際教養学科
准教授

河崎 雷太

この度は、貴協会より実務教育優秀教員として表彰を頂き、誠に光栄に存じております。

私の本来の専門は、ヒューマンインタフェースとバーチャルリアリティーです。本学では、その技術を活かし、Web系科目などを担当しています。

就任当初は、私の専門を、いかに実務で役立つ技術に反映させるかという問題に直面し困惑したことを覚えています。バーチャルリアリティーは、実社会で、まだまだ実用的な技

実務教育優秀教員として表彰されて

術ではなく、とりわけ事務職には、全くと言って良いほど無縁の技術でした。当時は、よくある教科書に沿った授業を設定しました。今振り返ると面白みに欠ける内容だったと思ひます。

ある時期から、要素技術ならば、実務の周辺技術として組み込むことができるのではないかと考えるようになりました。私の習得している要素技術は、3Dおよび2DCG、動画や音楽編集などのマルチメディア技術でした。これらの技術は、そのままでは実務としては役立ちません。しかし、プレゼンやWebの表現手法として活用でき、表現の向上は、学生の学習モチベーションを高める技術と成り得ると考えました。

また、人にやさしいコンピュータの構築を目標とするヒューマンインタフェースの基本概念も、意外にも役立ちました。ヒューマンインタフェースと言えば、「見やすいディスプレイ」や「使いやすいポインティングデバイス」など、いかに工学的な学問と考えがちですが、これは

デバイスを介した“人へのサービス”だと考えることもできます。つまり、学生に、どのように教材を提示すれば理解しやすいか、また、どのようにモチベーションをキープするか、といった教育環境の改善のきっかけとして考えるようにしました。その結果、PC演習室には、ペンタブレットを導入し作画の操作感を高め、アニメーションソフトで作成した動画に、簡単に作曲できるツールでBGMを付加するなど、実務には、無駄に思えるマルチメディア系の設備を充実させました。学生の学ぶ楽しさを増やしつつ、表現の幅を広げた意思伝達の方法を与えています。

最後に、コンピュータ分野に携わると、的確なインタラクションが、ユーザの快適性向上に不可欠であることを感じさせられます。これは、人と人の繋がりでも同じであると感じています。今後は、学生とのインタラクティブなコミュニケーションをもっと大切にし、学生に無駄な負担を感じさせない教育を検討していきたいと考えています。

平成21年度 会長賞受賞者紹介 (No.1)

No.資格名	大学名	学部・学科名	氏名	No.資格名	大学名	学部・学科名	氏名
1	筑波学院大学	情報コミュニケーション学部	関水 卓哉	49	清泉女学院短期大学	国際コミュニケーション科	尾崎 彩野
2	十文字学園女子大学	社会情報学部	伊藤 記子	50	岐阜聖徳学園大学短期大学部	生活学科	増田 好
3	目白大学	社会学部	長谷部達也	51	愛知学泉短期大学	生活デザイン総合学科	佐々木美里
4	清泉女学院大学	人間学部	井出 麻美	52	岡崎女子短期大学	経営実務科	時 志穂美
5	京都光華女子大学	人間関係学部	井上 朋華	53	名古屋短期大学	現代教養学科	勅使河原みなみ
6	京都女子大学	現代社会学部	幸田 彩	54	滋賀短期大学	ビジネスコミュニケーション学科	栗津 裕子
7	同志社女子大学	現代社会学部	平野 絢子	55	京都光華女子大学短期大学部	ライフデザイン学科	原 知代
8	武庫川女子大学	生活環境学部	大野 茜	56	京都文教短期大学	家政学科	秋山 友香
9	安田女子大学	現代ビジネス学部	阿部奈々絵	57	大阪国際大学短期大学部	ライフデザイン総合学科	今谷恵梨香
10	四国大学	経営情報学部	藤尾 望	58	就実短期大学	生活科学科	黒田 京子
11	九州共立大学	経済学部	石嶺 一真	59	比治山大学短期大学部	総合生活デザイン学科	森山名奈子
12	久留米大学	文学部	長田 有紀	60	四国大学短期大学部	ビジネス・コミュニケーション科	乾 浩子
13	活水女子大学	文学部	宮脇 麻友	61	高松短期大学	秘書科	中野愛梨沙
14	長崎純心大学	人文学部	大串 加奈	62	松山東雲短期大学	秘書科	青木 彩香
15	拓殖大学北海道短期大学	経営経済科	林上 亮太	63	筑紫学園大学短期大学部	現代教養学科	田上 彩
16	星美学園短期大学	人間文化学科	原 雪乃	64	東筑紫短期大学	美容ファッションビジネス学科	岡田安由樹
17	横浜創英短期大学	情報学科	柏原 志保	65	尚絅大学短期大学部	総合生活学科	畑瀬 美紀
18	富山短期大学	経営情報学科	鷺北ゆかり	66	大分県立芸術文化短期大学	情報コミュニケーション学科	大野 正寛
19	金城大学短期大学部	ビジネス実務学科	小枝 一馬	67	南九州短期大学	国際教養学科	小林 礼奈
20	北陸学院大学短期大学部	コミュニティ文化学科	道上 晴奈	68	鹿児島国際大学短期大学部	情報文化学科	服部 静華
21	名古屋女子大学短期大学部	生活学科	藤田 春香	69	鹿児島純心女子短期大学	生活学科	田中 美紀
22	高田短期大学	オフィス情報学科	小林 奈央	70	鹿児島純心女子短期大学	英語科	宮園 礼子
23	大阪キリスト教短期大学	国際教養学科	田中 恵理	71	鹿児島女子短期大学	教養学科	山崎 英恵
24	四條畷学園短期大学	ライフデザイン総合学科	妹背 知恵	72	筑波学院大学	情報コミュニケーション学部	坂本 優子
25	プール学院大学短期大学部	秘書科	須藤友季子	73	十文字学園女子大学	社会情報学部	三上 舞
26	和歌山信愛女子短期大学	生活文化学科	垣端 友香	74	武庫川女子大学	生活環境学部	有馬 輝美
27	鳥取短期大学	生活学科	手島 良彦	75	自由が丘産能短期大学	能率科	金谷 未来
28	中国短期大学	情報ビジネス学科	赤澤 知香	76	横浜美術短期大学	造形美術科	澤村 育寛
29	安田女子短期大学	秘書科	角濱 愛美	77	鳥取短期大学	生活学科	山崎 麻実
30	久留米信愛女学院短期大学	ビジネスキャリア学科	北島千歌子	78	中国短期大学	情報ビジネス学科	高橋 美聡
31	宮崎学園短期大学	人間文化学科	甲斐 由希	79	鹿児島女子短期大学	教養学科	徳永 加奈
32	相模女子大学	学芸学部	小樋山雅実	80	札幌国際大学	現代社会学部	原口 真衣
33	京都女子大学	文学部 国文学科	吉岡 翔子	81	相模女子大学	学芸学部	永井 佑佳
34	京都女子大学	文学部 英文学科	山内 梨花	82	東京成徳短期大学	ビジネス心理科	井澤 那波
35	京都女子大学	発達教育学部 教育学科	野瀬 樹	83	プール学院大学短期大学部	秘書科	高奥 芽衣
36	京都ノートルダム女子大学	人間文化学部	廣川 陽子	84	宮崎学園短期大学	初等教育科	神田こず恵
37	美作大学	生活科学部	溝口 緑	85	鹿児島国際大学短期大学部	情報文化学科	今畠中 慶
38	長崎純心大学	人文学部	出本 優美	86	鹿児島純心女子短期大学	生活学科	藏元 陽子
39	札幌国際大学短期大学部	英語コミュニケーション学科	狩野 翠	87	大阪総合保育大学	児童保育学部	大田 彩
40	聖和学園短期大学	キャリア開発総合学科	渡辺絵里奈	88	大阪総合保育大学	児童保育学部	平田 知沙
41	聖霊女子短期大学	文化コミュニケーション科	三浦 夢生	89	夙川学院短期大学	専攻科(保育専攻)	川村 舞
42	山形短期大学	総合文化学科	加藤 舞	90	福島学院大学	福祉学部	田中 喜美
43	福島学院大学短期大学部	情報ビジネス科	芳賀麻奈美	91	大阪河崎リハビリテーション大学	リハビリテーション学部	柿本 友大
44	佐野短期大学	経営情報科	山田 佳織	92	九州保健福祉大学	保健科学部	高瀬 良太
45	国際短期大学	情報ネットワーク学科	白石 祐也	93	甲子園短期大学	家政学科	松本 愛
46	自由が丘産能短期大学	能率科	村嶋 麻紀	94	大分短期大学	園芸科	鳥越 晴聖
47	富山短期大学	経営情報学科	梅森 咲衣	95	大分短期大学	園芸科	富山 春香
48	仁愛女子短期大学	生活科学学科	大久保美鈴				

大学名、学部・学科名は平成22年3月31日現在である。

資格取得卒業生の声

上級ビジネス実務士

保険会社の最前線である営業部を訪れました。広いフロアに活気が満ち溢れていました。松波様、上司である今村様ともに意外にも（私の偏見でしょうか）華奢なしなやかな女性でした。今村様は家庭も仕事もの両面で活躍されていると伺い、頼もしく感じました。松波様の活躍を伺い、上級ビジネス実務士資格が十分に役立っていると確信しました。お忙しい中の取材にも関わらず、大変丁寧に熱心に対応いただき感謝いたします。



大阪国際大学人間科学部 心理コミュニケーション学科
平成17年度卒業

松波 麗子さん

Q：大学で「上級ビジネス実務士」を取得した動機は。

A：大学に入学してすぐの時期に、社会で活躍する「キャリアウーマン」を目指していました。「上級ビジネス実務士」の教育内容をみると社会人としての基礎力を中心に構成されているので、取得をしました。

Q：現在の仕事をする上で、「上級ビジネス実務士」取得はどのように役立っていますか。

A：現在は営業のアシスタントマネージャーとして仕事をしています。営業には直接関係がないと思われる「簿記」などの科目も顧客との話題に役だって信頼を得ることも多くあります。幅広い科目を学ぶことよってのメリットは多いと思います。

Q：「上級ビジネス実務士」の科目の中で特に役立っている科目はありますか。

A：「人間関係論」「組織コミュニケーション」等です。現在は30名ほどの社員を束ねるマネージャーのアシストをしています。さまざまな考え方の社員がいますが、科目を学び基本を身に付けているので、問題が起こっても対処をする道筋が分かるので、自信を持って行えます。

また、「ビジネス実務総論」「ビジネス実務演習」はビジネスの基本と実際に学び、現在その活用ができています。

Q：「上級ビジネス実務士」の科目の中で、なお不足している分野はありますか。また、すでに学んだ「上級ビジネス実務士」の教育課程に希望はありますか。

A：後輩を見ていると「叱られた経験がない」者が多くいます。また、社会人の基本的なスキルが不足し

ているものも増えているように感じます。「あいさつ、感謝、謝罪」がスムーズにできない。「インターンシップ」を必修科目にし、仕事の中での体験を学生時代に積むことが必要ではないでしょうか。

Q：将来目標とするものがあれば教えてください。

A：アシスタントマネージャーとしては1年目です。入社1年から3年の社員の育成に携わっていますが、「保険の営業の面白さ」を伝えたい。また、マネージャーを目指したいと考えています。マネージャーの仕事はオフィスを経営する興味深い仕事です。現在のマネージャーが大変素晴らしい方なので、マネージャーとしてはもちろん、女性の先輩としても目標としています。大学時代のゼミの先生は熱心に私達を指導頂き、その指導の仕方を見て、後輩を指導する仕事「育成コース」を選びました。

上司であるマネージャーの今村一様様のコメント

松波さんは「まじめで努力家」この一言で言い表せます。同期入社の中でアシスタントマネージャーになったのは、現在のところ2名です。後輩の気持ちをきちんと受け止め、しっかり個性を見ながら仕事をしています。これからの成長が楽しみです。

営業の最前線の職場は活気に満ちて、まさに刻々と動いていることを肌で感じました。卒業後7年を経ていらっしやるので、記憶が薄れているとのことで、超多忙中、履修科目を大学から取り寄せて準備もされており、気持ちよく熱心にインタビューに応じてくださりまして、ありがとうございました。資格が仕事に役立っていることを実感しました。

(油谷純子記)

資格取得卒業生の声

秘書士（メディカル秘書）

村瀬様は平成21年4月から「財団法人 愛知県薬剤師会」衛生試験部に勤務されています。年度末のとてもお忙しい時期に快く取材に応じてくださり、社会人となって1年の経験をお話くださいました。

上司の企画渉外課長の小寺様には直接お目にかかることができませんでしたが、お忙しい時間のなかでコメントをご準備くださいました。感謝申し上げます。



名古屋学芸大学短期大学部 現代総合学科
平成20年度卒業

村瀬 知美さん

Q：大学で「秘書士（メディカル秘書）」を取得した動機は。

A：医療事務を学ぶことが進学の目的でした。オープンキャンパスでメディカル秘書モデルの説明を聞き、「これだ！」と迷うことなく第一希望で入学しました。「秘書士（メディカル秘書）」の取得は入学した時からの目標です。

Q：現在の仕事をする上で「秘書士（メディカル秘書）」はどのように役立っていますか。

A：日常的な仕事では「秘書実務」で学んだことが直ぐに役立ちました。電話による「おくすり相談」を交代で担当していますが、「メディカル秘書実務」で学んだ接遇が役立っています。相談される方は不安や心配を抱えていらっしゃるから、「どうされましたか」と尋ねる時の声や言い方も普段の会話とは違ってきます。「身体のしくみ」や「医学と薬の知識」は相談の内容を理解する上で役立っています。また「調剤報酬請求事務」で学んだことも、相談される方の事情を考えて対応する際の助けになっています。

Q：「秘書士（メディカル秘書）」の科目の中で特に役立っている科目はありますか。

A：どの科目も役立っていますが、メディカル情報処理のすべての授業が実践的でした。また医療現場での2週間のインターンシップの経験も役立っています。

Q：「秘書士（メディカル秘書）」の科目で、なお不足している分野はありますか。また、すでに学んだ教育課程に希望はありますか。

A：特にありません。メディカル秘書モデルには「秘

書士（メディカル秘書）」の必修科目を取り巻く科目がたくさんありました。覚えることが多く大変でしたが、仕事の流れを実践的に学ぶことができたと思っています。

Q：将来目標とするものがありましたら、教えてください。

A：どうなるか分かりませんが、働き続けたいと考えています。まだ先のことになりますが、医療現場での仕事も経験したいと思っています。

上司である衛生試験部企画渉外課長の小寺徹様のコメント

積極的な性格で電話を取るのも一番、元気も一番です。衛生試験部は特殊な業務をしているので理解するのも大変だと思っていましたが、あっという間に覚えてしまいベテランと変わらない仕事ぶりです。また、当試験センターでは、週に1回女性事務員の講習会を行っています。1年目の新人でありながら優秀な成績を収めています。メディカル秘書の知識が活かされているのでしょうか。

社会人1年生の初々しさと心からの笑顔の中に、将来を見据えて「今できること」「今すべきこと」を考えながら、人生を切り拓いていこうとする強い意志を感じました。「秘書士（メディカル秘書）」を柱に「できる」を目標とした教育課程の履修は大変だったとか。学生時代に友人と励まし合いながら乗り切った自信と達成感が、何ごとにも前向きに取り組もうとする姿勢のなかで輝いていました。

（有働壽恵記）

協会からのお知らせ

◆「マナーインストラクター認定試験」を創設◆

本協会では、最近における社会や企業などからの「マナー教育」指導者養成のニーズに対応することを目的とし、会員校卒業生を対象とした社会人教育の一環として、マナーインストラクター認定試験を創設いたしました。

この認定試験は、本協会会員校それぞれ独自の教育目的や教育環境を尊重したあらたな試験方式であり、その受験資格として本協会の上級秘書士、秘書士(秘書士(国際秘書)、秘書士(メディカル秘書)を含む。)、上級ビジネス実務士、ビジネス実務士の資格取得者を対象としています。

また、マナーインストラクターの認定試験は、一定の要件を満たして本協会から認定を受けた大学(短期大学を含む。)において行う①書類審査②面接審査③実技審査④実習審査の4段階の審査に合格した者に本協会から認定証が授与されます。

なお、「マナーインストラクター認定試験に関する規程」は平成22年7月1日から施行されます。

マナーインストラクター認定試験に関する規程、実施要領、ガイドライン等は近く会員校に送付いたしますが、来る6月19日開催の会員校協議会においても会員校説明会を設けて詳細に説明される予定です。

◆「汎用能力育成の指導法:研修プログラムと教材開発を中心に」を日本ビジネス実務学会へ研究委託◆

本協会では、平成21年度の日本ビジネス実務学会への研究委託事業として「ビジネス実務分野における汎用能力とその教育方法」の調査研究の委託を行い、その結果ビジネス実務分野における汎用能力の内容、育成ニーズの高さが明らかになり、また教育方法についてもいくつかの重要な指摘がありました。

大学教育にとって、学生の汎用能力に関する能力開発を実現することが社会から今も求められています。

平成22年度は、日本ビジネス実務学会へ「汎用能力育成の指導法:研修プログラムと教材開発を中心に」の研究委託を行いました。

この研究委託により、平成21年度のビジネス実務分野における汎用能力の研究の成果をうけて、汎用能力をどのように教育するのか、教育の指導力をいかに高め、どのような指導法を習得させればよいかを明らかにすることが期待されています。

◆平成22年度会員校協議会を開催◆

平成22年度会員校協議会を下記により開催いたします。

この会員校協議会は、会員校に対する本協会の活動状況及び新規事業などの説明を行うとともに、会員校の意見を本協会の運営に反映させることを目的として開催するものです。

なお、協議会終了後、今回は新しく創設された「マナーインストラクター認定試験」について詳細に説明するための「会員校説明会」及び希望会員校に従来から実施している教育課程の相談等業務全般について個別に相談に応じるため「会員校相談会」の開催も予定しています。

また、会員校に対する通知は後日送付いたします。

日時:平成22年6月19日(土)13:00~15:00

場所:東京商工会議所ビル四階会議室
(東京都千代田区丸の内3-2-2)

◆「新時代の学習を支援する事務担当者研修会」を開催◆

本協会の資格に関する業務を担当する事務職員の研修会を下記のとおり開催します。

この研修会は、本協会の業務を担当する大学(短期大学を含む。)職員が

本協会や資格に関する知識を得て、学生への対応力を高め、また対人スキルを習得することにより、学生や保護者への対応力を高め、協会資格のガイダンスや相談に関しての問題解決能力を習得することを目的として開催するものであります。

大学における実務教育の充実と向上を図るうえで職員の果たす役割が重要となっている現今、多数の会員校からの職員の参加が期待されています。

なお、会員校に対する通知は後日送付いたします。

日時:平成22年9月6日(月)13:00~9月7日(火)15:00

場所:アルカディア市ヶ谷(私学会館)

◆Webサイトを全面的にリニューアル◆

本協会では、平成12年4月に開設したWebサイトについて、構成を一新し、よりわかりやすく、より興味深く、より親しみやすい内容にするために平成22年6月を目標に全面的にリニューアルすることになりました。

このリニューアルに際して、あらたに各会員校を紹介するページを設け、大学関係者だけでなく、広く高校生が本協会の資格に興味を持ち、進路の選択に役立つ内容にするようなサイト構成をすることを予定しています。

◆「プレゼンテーション(基礎編)教育指導法セミナー」を開催◆

本協会が協賛し、日本ビジネス実務学会が主催する「プレゼンテーション(基礎編)教育指導法セミナー」が次の日程で開催されます。

このセミナーは、日本ビジネス実務学会がビジネス実務の現場に対応したプレゼンテーション教育の研究を積み上げ、さらにプレゼンテーション指導法研究プロジェクトを組織し、研究を深めた成果を生かしたものです。

日時:2010年9月1日(水)~2日(木)

場所:自由が丘産能短期大学(東京都世田谷区)

問い合わせ先 電話:03-3704-4011

(自由が丘産能短期大学教務課)

◆平成21年度資格認定証授与数は15,716件◆

平成21年度資格認定証授与数は15,716件でした。その内訳は大学4,243件、短期大学11,473件でした。

従前の全国大学実務教育協会の前身は、昭和48(1973)年に創立された「短期大学秘書教育協議会」ですが、それ以来の資格認定証授与数の総数は527,632件でした。

平成21年度の資格認定証授与数の上位10資格は次のとおりです。

①情報処理士	4,020件	⑥プレゼンテーション実務士	828件
②ビジネス実務士	3,087件	⑦ウェブデザイン実務士	733件
③上級情報処理士	2,077件	⑧上級ビジネス実務士	503件
④秘書士	1,774件	⑨秘書士(メディカル秘書)	351件
⑤上級秘書士	924件	⑩園芸療法士	256件

◆新規入会及び新規教育課程認定等の申請期限等◆

新規入会及び新規教育課程認定等の平成22年度の申請期限は、平成22年7月26日(月)及び平成23年1月25日(火)です。

すでに承認を受けている教育課程の変更(科目の追加・削除、科目名の変更、協会承認の○印の専任教員の変更等)についても事前に上記提出期限までに申請する必要があります。

なお、入会審査及び各資格教育課程の認定審査を担当する「加盟・課程審査常任委員会」は、平成22年4月1日から名称を「資格教育課程審査常任委員会」に変更しました。

平成22年度 新規会員校一覧

〈大学 6校〉

(平成22年4月1日入会)

No.	大学名	学長名	住所
1	城西国際大学	柳澤伯夫	〒283-8555 千葉県東金市求名1
		申請資格	生活園芸士、園芸療法士
2	東京成徳大学	木内秀俊	〒114-0033 東京都北区十条台 1-7-13
		申請資格	上級ビジネス実務士
3	東洋学園大学	一ノ瀬尚道	〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3
		申請資格	社会調査アシスタント、国際ボランティア実務士
4	横浜美術大学	春山文典	〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鶴志田町1204
		申請資格	ウェブデザイン実務士
5	新潟経営大学	蛭名保彦	〒959-1321 新潟県加茂市希望ヶ丘2909-2
		申請資格	秘書士
6	鹿児島国際大学	瀬地山敏	〒891-0197 鹿児島県鹿児島市坂之上8-34-1
		申請資格	観光ビジネス実務士

平成21年度 実務教育優秀教員被表彰者名簿

〈大学〉

No.	大学名	氏名	所属	職名	担当科目
1	札幌国際大学	長谷川修	観光学部	教授	「観光マーケティング」
			観光ビジネス学科		
2	四国大学	関口寛	経営情報学部	講師	「社会調査法Ⅰ」 「社会調査法Ⅱ」
			経営学科		

〈短期大学〉

No.	大学名	氏名	所属	職名	担当科目
1	大阪キリスト教短期大学	河崎雷太	国際教養学科	准教授	「情報処理論」 「情報科学概論」

*大学名、所属、職名は平成22年3月31日現在である。

会員校		平成22年4月1日現在	
●大学	94校	計 241校
●短期大学	147校	